

---

---

松電舎 トリガー端子付き DN3UVCカラーカメラ

# 映像反転モードをカメラに覚えさせる方法

---

---

Linux

## はじめに

カメラの映像反転を設定する際に使用する SynView は ARM 系 CPU では使用することができません。

Intel 系 CPU を使用して設定してください。

## SynView のセットアップ

初めて Synview をセットアップする場合には USB トップの「\_Synview」ファイルにある

**DN3UVC カラーカメラ\_Synview セットアップ手順書(Linux).pdf**

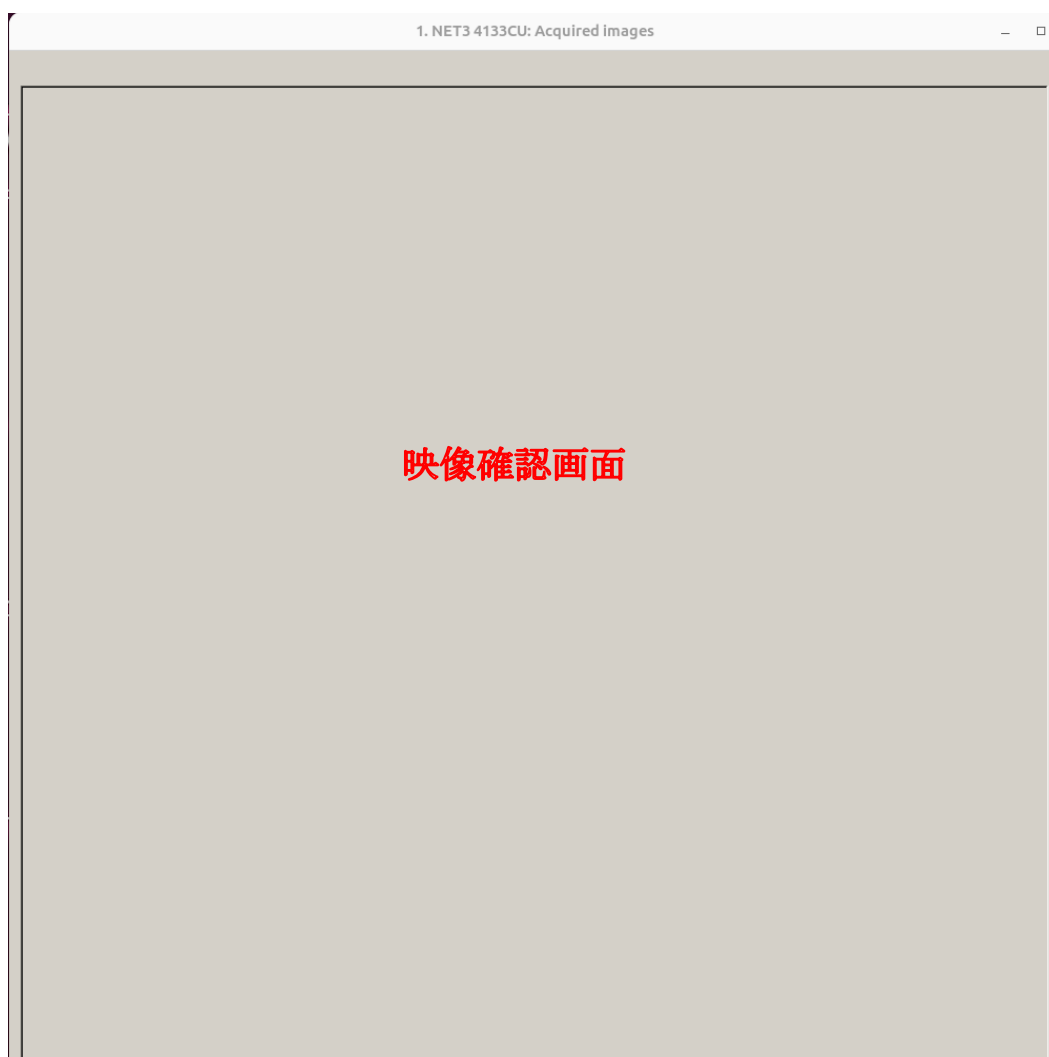
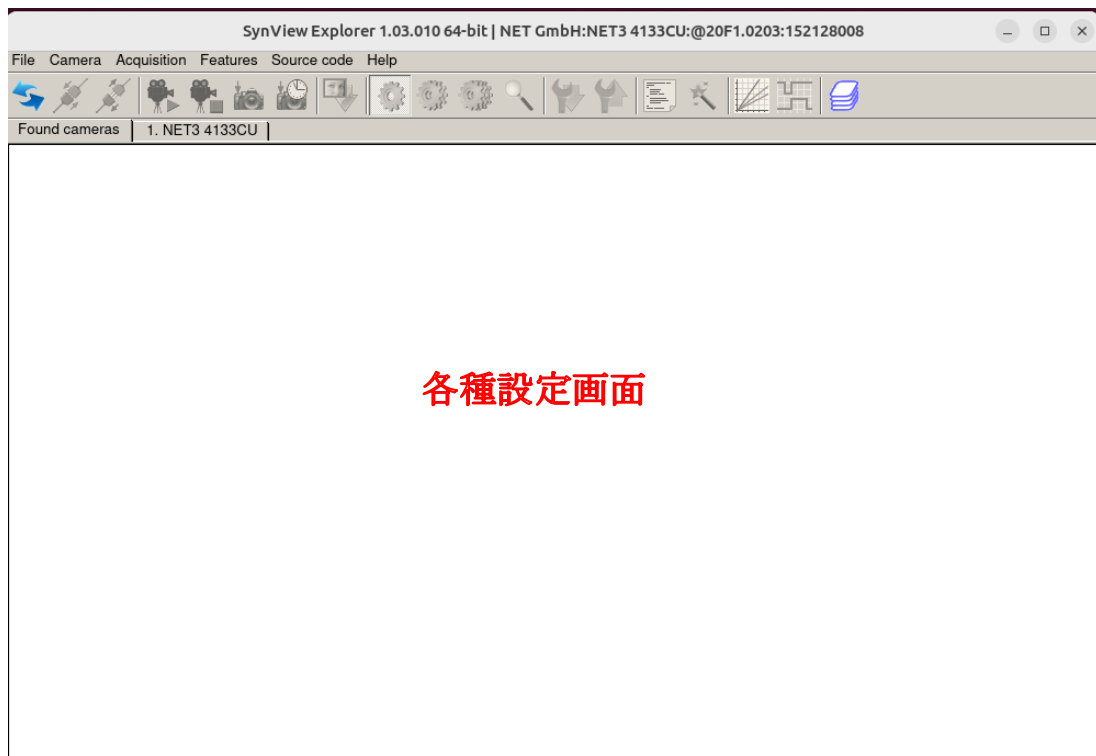
に従ってセットアップをしてください。

## Synview の起動

ターミナル(端末)を起動し、下記のコマンドを順番に実行してください。

```
# cd /opt/synview/bin  
# ./sv.explorer
```

コマンドを実行すると、以下の2画面が起動します。

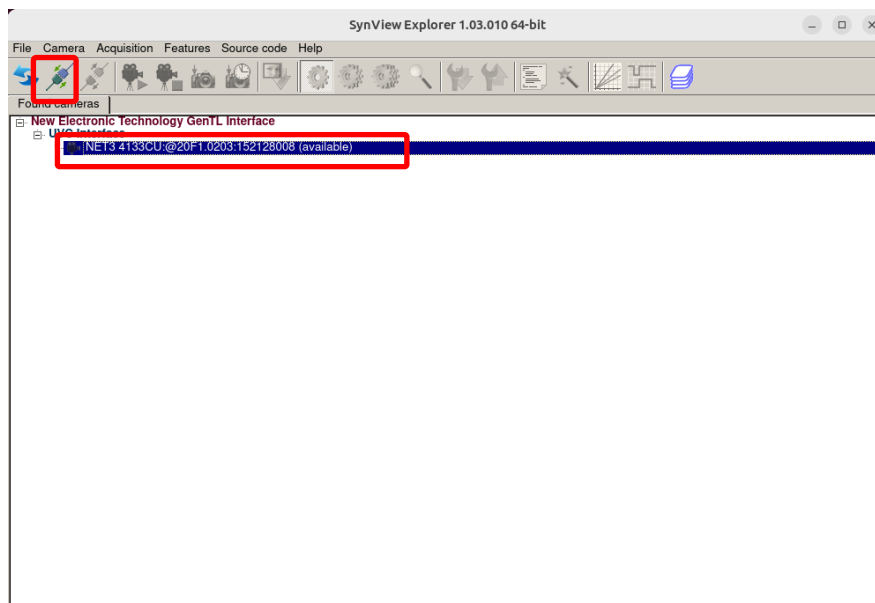


操作は、各種設定画面でのみ行います。

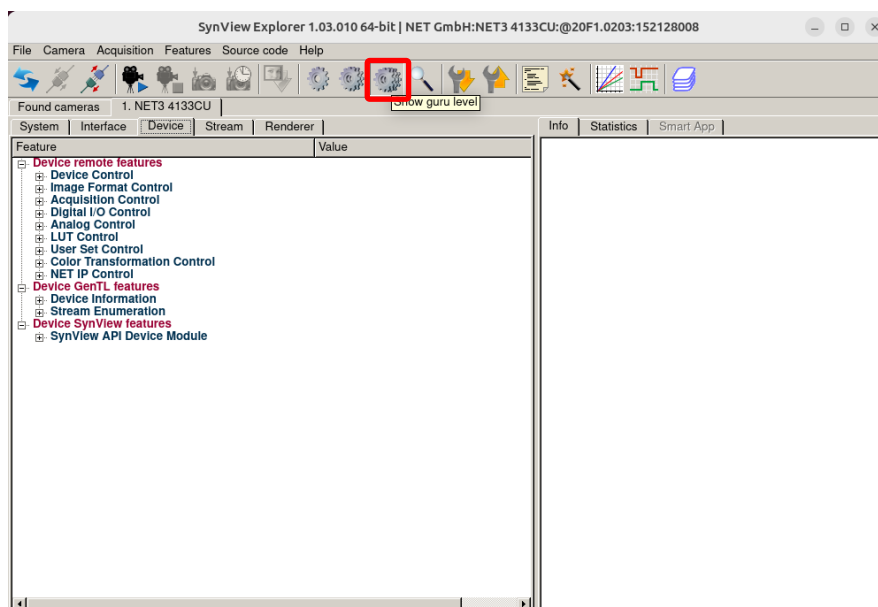
# 映像反転設定

## 映像反転をする前の操作

カメラを選択し、ダブルクリック 又は 「接続」ボタンをクリックします。



「Show guru level」ボタンをクリックします。

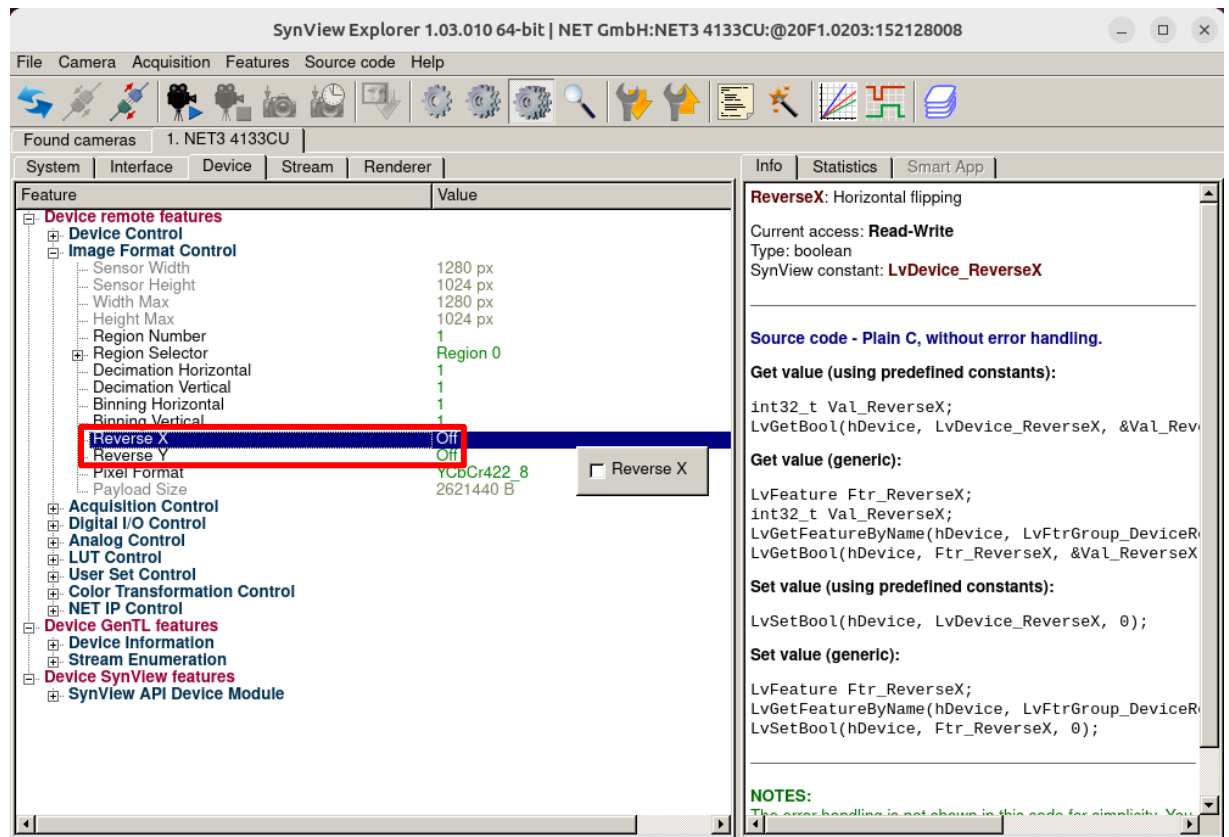


※ 映像反転設定は、「Show guru level」でのみ操作できます。

## 映像を反転

映像を反転させるには

「Device」→「Device remote features」→「Image Format Control」  
にある Reverse X,Y を使用します。



Reverse X は左右反転、Reverse Y は上下反転します。

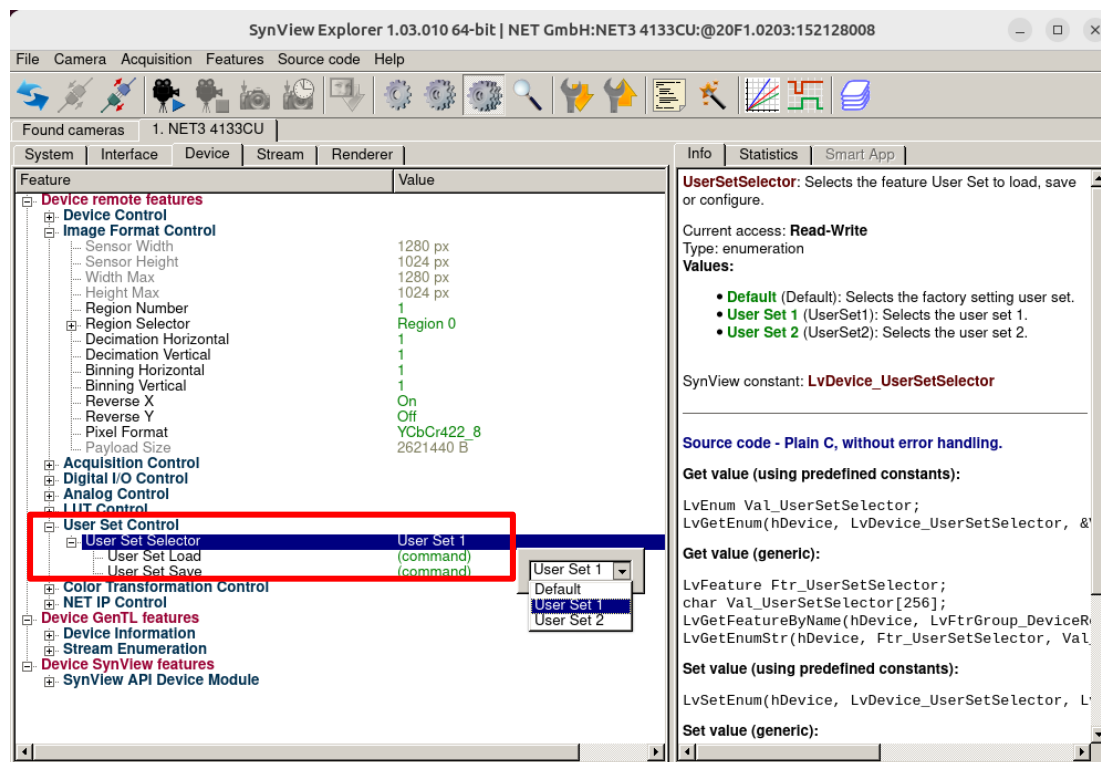
チェックボックスにチェックを入れると設定できます。

X,Y 同時に設定することも可能です。

## 設定値の保存

設定値の保存には

「Device」→「Feature」→「User Set Control」→「User Set Selector」  
にある User Set Save を使用します。



User Set1 か User Set2 を選択し User Set Save を押下することで現在の設定値をカメラに保存することができます。



